

救 助 服 仕 様 書
(消 防 吏 員)

安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部

第1 総則

1 主旨

この仕様書は、安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部（以下「当本部」という。）が購入する消防吏員救助隊員服（以下「救助服」）について必要な事項を定める。

2 条件

この救助服は上衣、ズボンともに特殊立体裁断も用いて縫製されたものであること。表生地は活動上の安全面に配慮し、主素材は難燃性・機械的強度に優れたアラミド繊維を使用し、十分に品質管理を行った材料及び附属品を用いた仕上がりが優良な製品であること。

3 工程表等の提出

契約締結後、次の文書について各1部提出すること。

- (1) 工程表（検査予定日も明記すること。）
- (2) 制作（縫製）工場届

4 品質並びに出荷証明書の提出

契約締結後、第2が示す表生地については紡績メーカーの品質並びに出荷引受証明書を提出すること。

5 材料見本等の提出

契約締結後、材料の見本及び公的機関の検査（試験）成績書を提出し、当本部の確認を受けること。

なお、前4の表生地以外は社内検査（試験）成績書とすることがある。

6 見本品の提出

材料見本の確認を受けた後、この仕様書に適合する見本品を提出し、当本部の確認を受けること。

なお、受注数の生産は、当本部による見本品の確認後とすること。

7 品質管理

受注者は、納入前に自主検査を行うものとともに、品質管理の適正を図ること。

第2 仕様

1 型式

(1) 上衣

ア 前身頃・後身頃・脇身頃及び、前袖・後袖・下袖・袖山及びヨーク続きからなる長袖型。

イ 前合わせ：黒皮付きファスナー式（衿先まで）。

ウ 胸ポケット：黒革付きファスナー式切りポケット。

エ 袖口：黒革付きファスナー式、水かき付、カフス仕立て。

オ 肩章：肩章付き。

カ 脇下ベンチレーション式。

(2) ズボン

ア 前身頃・後身頃・脇身頃・内股部からなる長ズボン型。

イ 脇ポケット：黒革付きファスナー式、マチ付きアウトポケット。

ウ 前あわせ：ファスナー式、前カン式。

＊上衣・ズボンに使用するファスナーはそれぞれロック機能付きとする。

2 表生地

(1) 種類

帝人エクسفファイア® Y29258／オレンジ

エクسفファイア®ストレッチ ツイル

(2) 混紡率

アラミド（メタ型及びパラ型） 98（±3）%

ポリウレタン 2（±3）%

（アラミドは原液着色）

導電性繊維混入

3 条件

(1) 針数

針目数は飾りステッチ、刺し、共に 3 cm 間に 10 針以上とする。

(2) 縫製糸

メタ型芳香族ポリアミド 40 番オレンジとする。

(3) 裁縫

糸調子は上下ともツレ、タルミのないようにし、縫い始め・縫い終わりは返し針を完全に行うこと。

4 縫製要領

(1) 上衣

ア 衿

(ア) 衿幅は、中央で約 10 cm・剣先で約 9 cm とし、衿裏には山刺しを施すこと。

(イ) 衿台として中央で幅約 3.5 cm の衿腰を切り替えしに付け、腰刺しは 5 本以上とする。

(ウ) 剣先部分まで、前身頃から続けてファスナーを縫い付ける。

イ 身頃

(ア) 前中心は、黒革付きファスナーを衿先から前身頃にかけて挟み縫いする。下部には、門止めを施す。

前身頃のファスナー開口部は、左右とも端に芯糸を入れる。

(イ) 肩章付とし、肩章は幅約 5.5 cm、長さ約 14.5cm、衿側は山型とする。

肩章付け根は二つ折りし、クロスステッチをかけ、身頃に縫付け、更

に約 3.5cm 衿側へ寄った箇所にダブルステッチにて身頃に縫い止める。
肩章先は釦止めとする。

- (ウ) 縦約 2.5 cm・横約 4 cm の階級章取り付け用面ファスナー（オレンジ色）を右胸ポケット上部から約 1 cm 上に縫い付ける。
- (エ) 裾は、シャツ型とし、三つ折り縫いとする。
- (オ) 前身頃刺子は、表生地を 2 枚重ねし、幅約 1.5 cm の刺し子を入れる（刺子箇所は概要図の通り）。
- (カ) 後身頃刺子は、衿付け後ろ中心から約 27 cm 下りを標準（L 寸）とし、表生地を 2 枚重ね、幅約 1.5 cm の刺子を入れる（刺子箇所は概要図の通り）。
- (キ) 脇身頃下側布と下袖布を縫い合わせ、脇部下部にベンチレーションを設ける
- (ク) 身頃・袖ハギ縫い合わせはインターロック後片倒し、一条飾り縫いを施す。
- (ケ) 左身頃胸ポケット上部に 6.5cm×8cm の面ファスナー B（オレンジ色・メス側）を縫い付ける。

ウ 袖

- (ア) 袖は、4 枚のハギ及びヨークからの続き袖にて構成される構造とし、肩部分には、表生地を 2 枚重ね、幅約 1.5 cm の刺子を入れる（刺子箇所は概要図の通り）。
- (イ) 袖口は両玉縁、約 17 cm のファスナーで開閉するものとし、接着芯を貼ったカフス式（カフス幅約 6 cm）とする。
開き口にはカフス先端から開き止まりまで水かきを付け、ファスナーを表地と水かきに挟み縫いする。水かき端部は約 0.5 cm の三つ折り縫いとする。
- (ウ) 肘部分には、表生地を 2 枚重ねし、幅約 1.5 cm の刺子を入れた当て布を取り付ける。当て布には運動性を良くするためにダーツを設ける。

エ 胸ポケット

- (ア) 左右前身頃に切りポケットを各 1 箇所、二条縫いで縫い付ける。
- (イ) ポケット口は両玉縁、口幅約 14 cm とし、黒革付ファスナーを縫付ける。
- (ウ) ファスナーは、閉じて脇側とする。
- (エ) 左ポケット内に、縦約 4 cm・横約 5 cm の 2 本入りペン差し用ループを縫い付ける。
- (オ) 左ポケット下に階級章取り付け用面ファスナー（オレンジ色）を縫い付ける。

オ 片布

- (ア) 右胸ポケット裏側に氏名片布、品質表示、警告表示を縫い付ける。
- (イ) 衿部分にサイズ表示及び衿吊りを縫い付ける。

カ 本部名標識

- (ア) 後身頃に「AWA FIRE DEPARTMENT」と二段で印刷を行うこと。なお、文字体、大きさ、色、位置については当本部の指示の通りとする。
- (イ) 左前身頃に「安房郡市消防本部」と刺繍(黒色)を入れること。なお、幅約2.5cm、長さ約4cmのオレンジ色、個人名取り付け用面ファスナーを前面左胸ポケット上部押さえ縫い部より1cm上に縫い付けること。

(2) ズボン

ア 身頃

- (ア) 前身頃3枚ハギ、後身頃2枚ハギ、脇身頃及び内股部各2枚ハギで構成された構造とする。前身頃・後身頃・脇身頃及び内股部の上部及び膝当て部は表生地を2枚重ねし、幅約1.5cmの刺子を入れる(刺子箇所は概要図の通り)。
- (イ) 脇・尻・内股縫いは、インターロック、片倒し一条飾り縫いを施す。前身頃と内股の縫い合わせ部分の一条の飾り縫いは小股から内股までの刺し子部分までとする。

イ 脇ポケット

- (ア) 左右に各1個、アウトポケットを縫い付け、風きん部分は一枚裁ちとする。
- (イ) ポケット付け位置は中央部で上端から約29cm下がり为标准(L寸)とする。
- (ウ) ポケット口は両玉縁とし、口幅約19cm、斜め式とする。
- (エ) 黒革付ファスナー開閉式とし、ファスナーは閉じて尻側とする。

ウ 前立て及び棒シック

- (ア) 前合わせは、前カン及びファスナー式とし、ファスナー止まり下部には門止めを施す。
- (イ) 棒シックは縦約13cm・横約2.5cmのものを取り付ける。

エ ウエスト・ベルト通し

- (ア) 腰裏にすべり止めマーベルトを縫い付ける。
- (イ) ベルト通しは、縦有効幅約6cm・横約9cmとする。位置は、後中央に1本、左右に各2本の計5本とし、ウエスト上端から約1cm下げて縫い、下部は二重縫いで身頃に止め、両端に門止めを施す。

オ 裾口

裾口には絞りを入れ、踵止めゴム紐を縫い付ける。

カ 片布

左脇ポケット裏側に氏名片布、品質表示、警告表示、サイズ表示を縫い付ける。

5 寸法表

上衣 (単位：cm)

サイズ	着丈	胸囲	胴囲	裾丈
SS	75	97	95	77
S	75	101	99	79
M	77	105	103	81
L	79	111	109	84
LL	82	117	115	86
3L	83	123	121	89
4L	86	129	127	91
5L	88	135	133	94

ズボン (単位：cm)

サイズ	ウエスト	ヒップ	渡り幅
SS	71	96	32
S	75	100	33
M	79	104	34
L	83	108	36
LL	87	112	37
3L	91	116	38
4L	95	120	40
5L	99	124	41

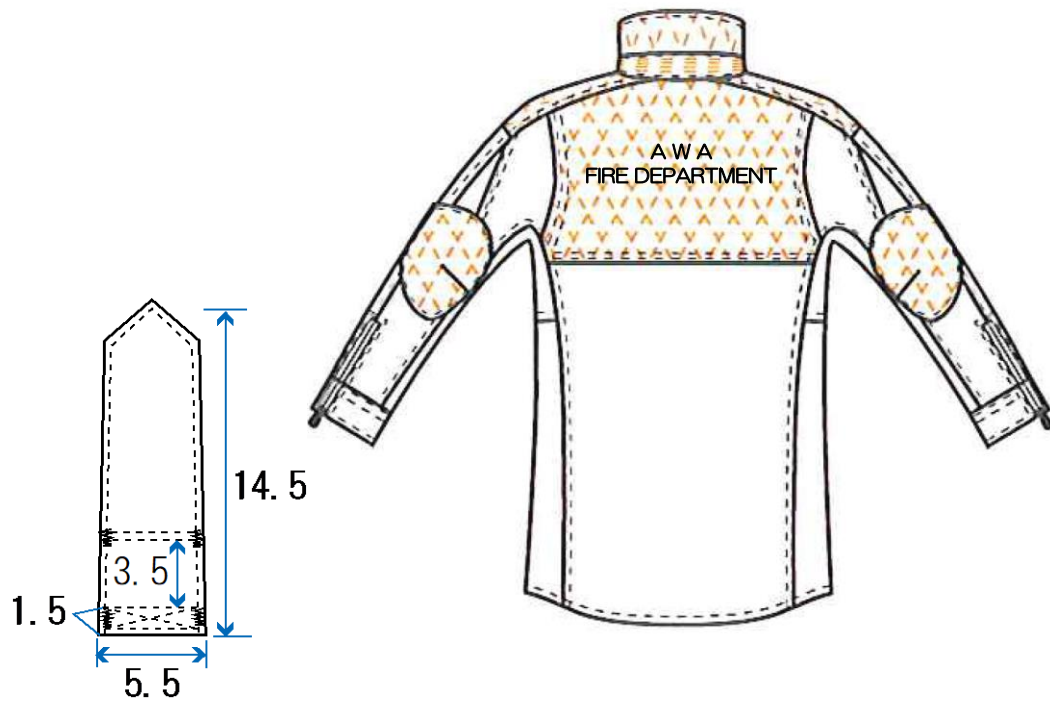
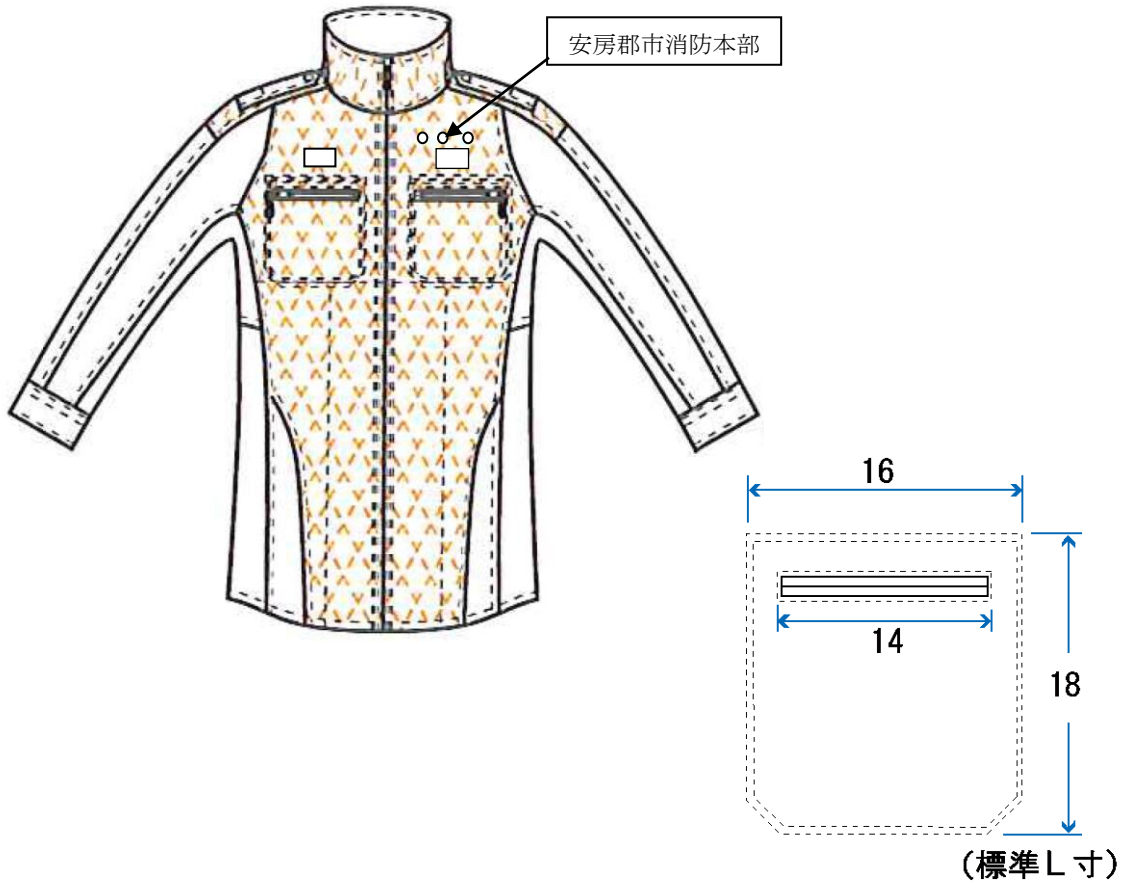
第3 その他

1 救助服には、ベルトを含むものとしその仕様は、次のとおりとする。

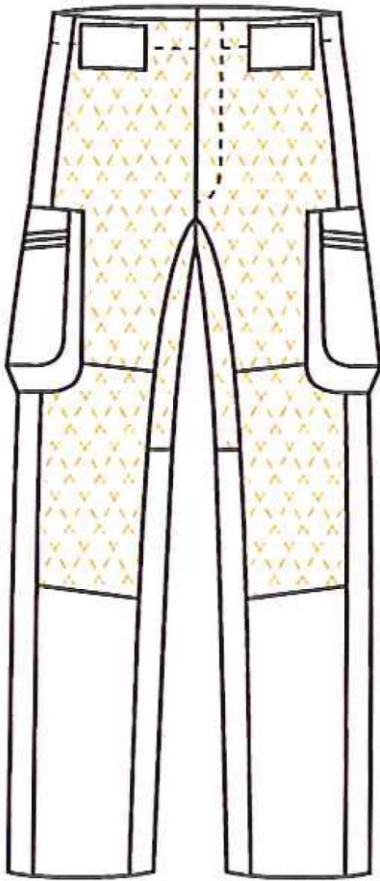
(1) レンジャーベルト (オレンジ色) とする。

2 別途指示する救助隊員服貸与者には、左胸本部名刺繡の上部に指定の面テープ (ループ面) を地縫いすること。

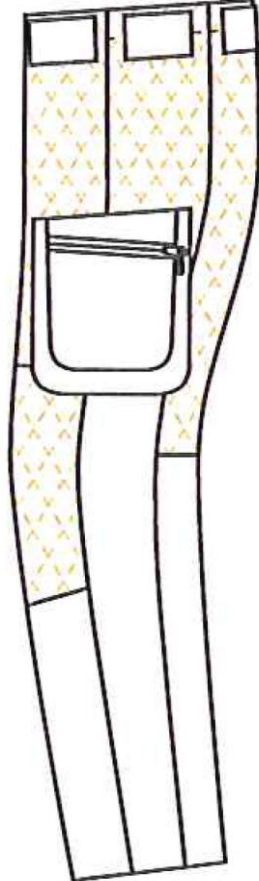
<概要図・上衣>



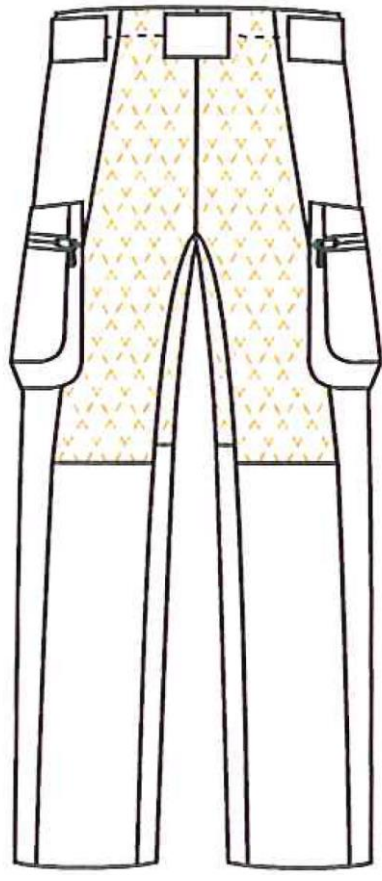
<概要図・ズボン>



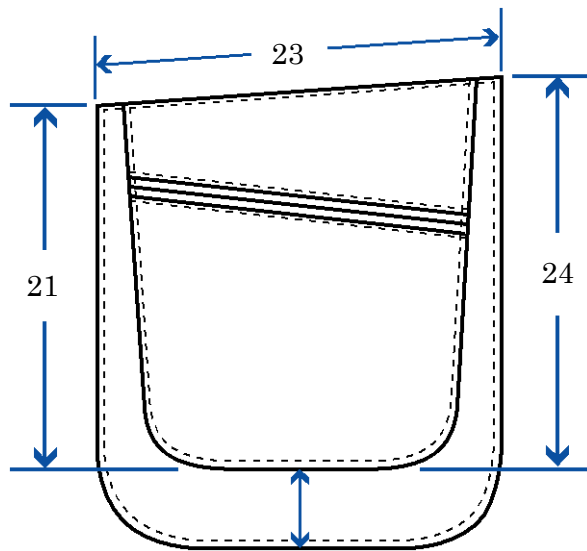
(前)



(横)



(後)



マチ 5

(脇ポケット)